

参院選連続調査 第一回 速 報

(2007 年 6 月 21 日～27 日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4
III	調査票	9



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆ 調査の目的

昨年秋、小泉内閣から引き継いだ安倍内閣にとって初めての国政選挙となる参院選が7月12日公示、同29日投開票の日程で行われる。

就任以来「戦後レジームからの脱却」を掲げ、教育基本法の改正、憲法改正を視野に入れた国民投票法の成立など、政治の新たなかじ取りを進めている。

しかし、その足もとでは、閣僚らの「政治とカネ」、社会保険庁の「年金記録の不備」をめぐる問題が相次ぎ、終盤国会の波乱続きの攻防や内閣支持率の低下など、政権基盤は大きく揺らいでいる。

また、小泉内閣の下での平成の大合併、三位一体改革により、地方と大都市圏の財政、産業面で地域間格差も進行しており、政治を見つめる国民の視線がきびしさを増し、小選挙区制の定着により、政治を支える有権者の意識や動向が多様化している。

今回の参院選は、安倍政治に対する審判と今後の日本の方向を占う大きな節目として、有権者の意識と動向を把握することをねらいに、協会モニター500人を対象とする連続調査（公示前、選挙期間中、選挙後の合計3回）を実施する。

◆ 調査の設計

▽調査対象	長野県世論調査協会の登録モニター 県下の成人500人（男性249人 女性251人） ＝男女、年代、地域別の配分が全県有権者の縮図になるように構成
▽調査方法	調査票を郵送 回収は郵送・電話・ファクス・インターネット
▽調査期間	2007年6月21日～27日

◆ 回収結果

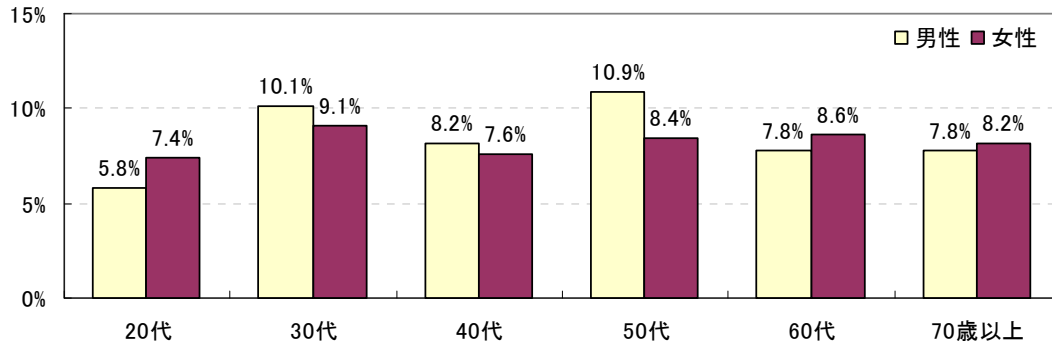
▽有効回収数	486人（男性246人 女性240人）
回収率	97.2%

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

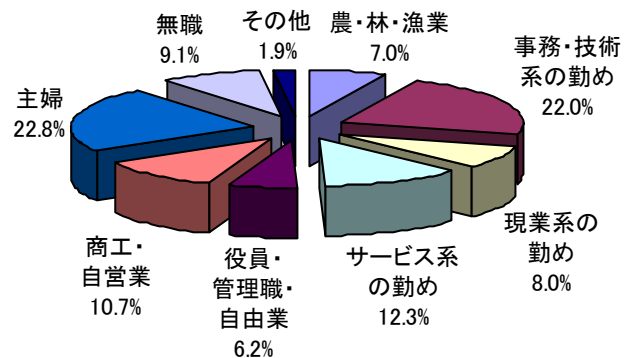
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	486	64	93	77	94	80	78
	100.0%	13.2%	19.1%	15.8%	19.3%	16.5%	16.0%
男性	246	28	49	40	53	38	38
	50.6%	5.8%	10.1%	8.2%	10.9%	7.8%	7.8%
女性	240	36	44	37	41	42	40
	49.4%	7.4%	9.1%	7.6%	8.4%	8.6%	8.2%



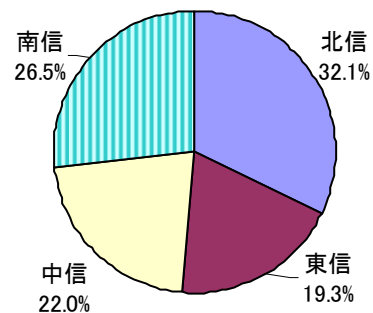
【職業】

農・林・漁業	34	7.0%
事務・技術系の勤め	107	22.0%
現業系の勤め	39	8.0%
サービス系の勤め	60	12.3%
役員・管理職・自由業	30	6.2%
商工・自営業	52	10.7%
主婦	111	22.8%
無職	44	9.1%
その他	9	1.9%



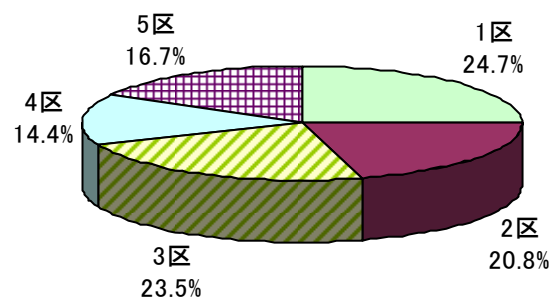
【地域】

北信	156	32.1%
東信	94	19.3%
中信	107	22.0%
南信	129	26.5%



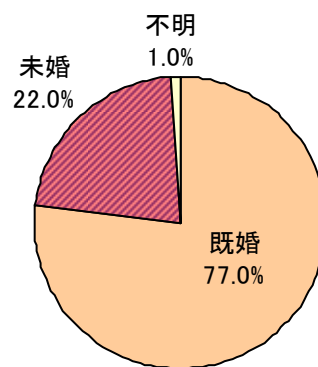
【選挙区】

1区	120	24.7%
2区	101	20.8%
3区	114	23.5%
4区	70	14.4%
5区	81	16.7%



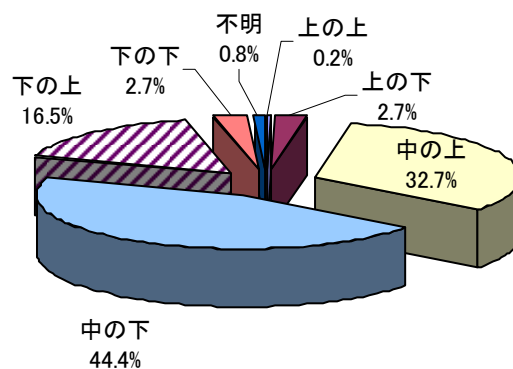
【結婚】

既婚	374	77.0%
未婚	107	22.0%
不明	5	1.0%



【暮らしぶり】

上の上	1	0.2%
上の下	13	2.7%
中の上	159	32.7%
中の下	216	44.4%
下の上	80	16.5%
下の下	13	2.7%
不明	4	0.8%



Ⅱ 結果の概要

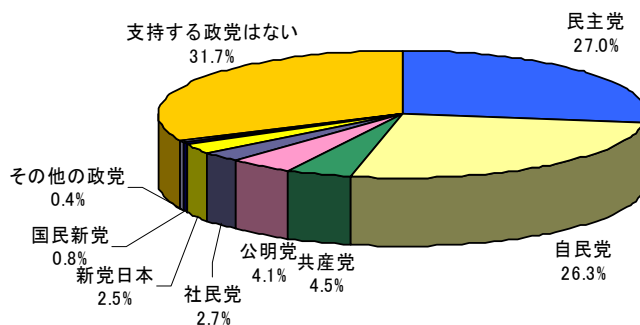
支持する政党

◆ 「民主党」 27.0% 「自民党」 26.3% 「支持なし」 31.7%

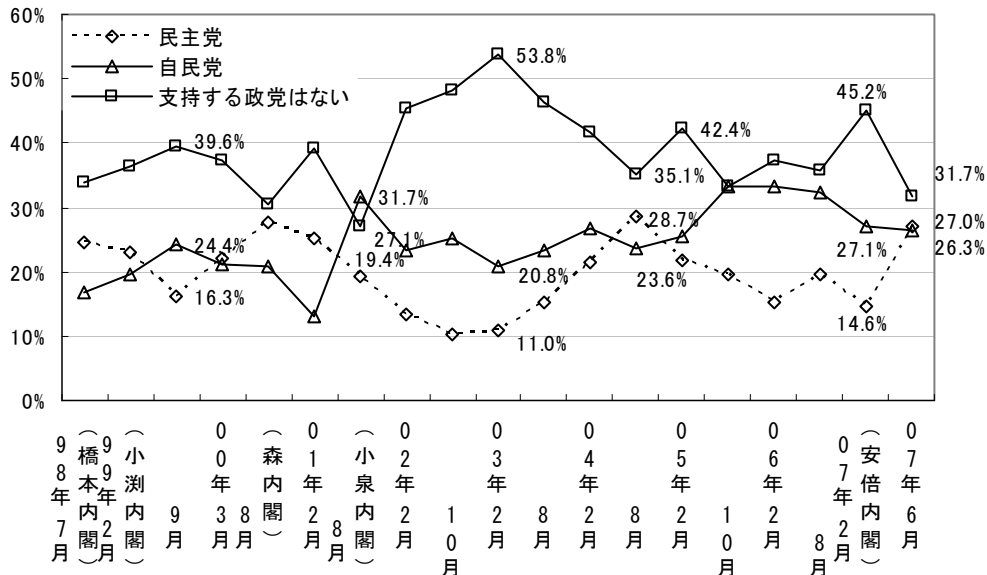
「民主党」が今年2月の定例モニター調査よりも大きく支持を伸ばして27.0%、前回3年前の参院選当時以来のトップ。しかし「自民党」は微減にとどまり26.3%。3位には「共産党」が食い込み、僅差で「公明党」「社民党」「新党日本」「国民新党」の順で続く。

「支持する政党はない」が31.7%に急減し、その分民主党に吸収された格好だ。

「民主党」が男性の27.6%、女性は26.3%とほぼ肩を並べる。選挙区別では、「民主党」が1区の30.0%を筆頭に3区、4区で優位に立つ。「自民党」は2区の34.7%を最高に、5区でも民主党を上回る。



【政党支持の推移】

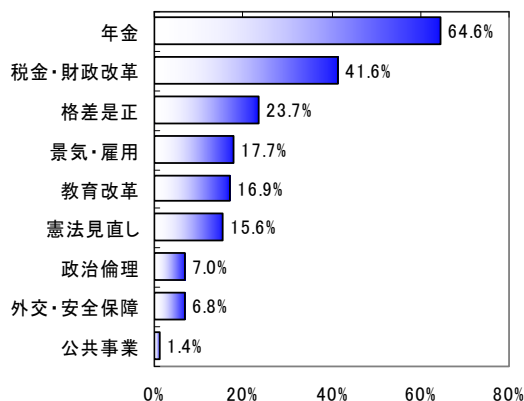


投票で重視する争点

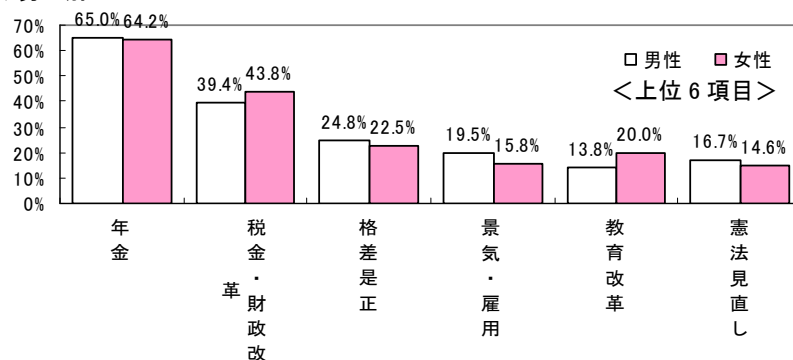
◆「年金」抜きん出る 「財政」「格差」も上位

「年金」が飛び抜け、男女が足並みをそろえてトップ。「税金・財政改革」が2位に挙げられ「格差是正」「景気・雇用」「教育改革」が上位に並ぶ。安倍首相が参院選の争点として前面に押し出した「憲法見直し」は6番目に置かれている。

「景気」で男性が高めで、女性は「財政」や「教育」が上回る。



◆男女別では

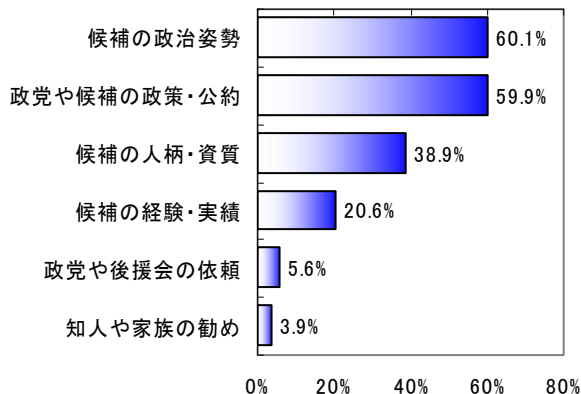


長野選挙区の投票で重視する点

◆候補の「政治姿勢」と「政策・公約」トップに並び

「候補の政治姿勢」と「政党や候補の政策・公約」がトップに並び、男性や中高年齢層でやや高め。続く「候補の人柄・資質」では女性の割合が高め。

選挙区別では「政治姿勢」で5区、「政策・公約」は1区と3区、「人柄・資質」では2区が最も高く、微かな温度差がみられる。

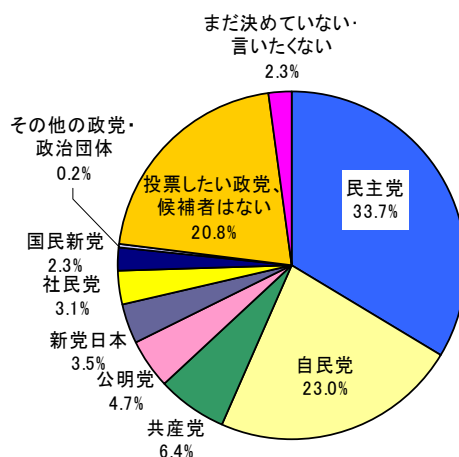


比例代表で投票する政党・候補

◆「民主」リード34% 「自民」に10ポイント余の差

「民主党」が34%を占め「自民党」は23%で、その差は11ポイント。3位からは「共産党」6%、「公明党」5%の順。僅差で「新党日本」が5位に食い込み「社民党」「国民新党」が続く。「投票したい政党、候補はいない」が21%。

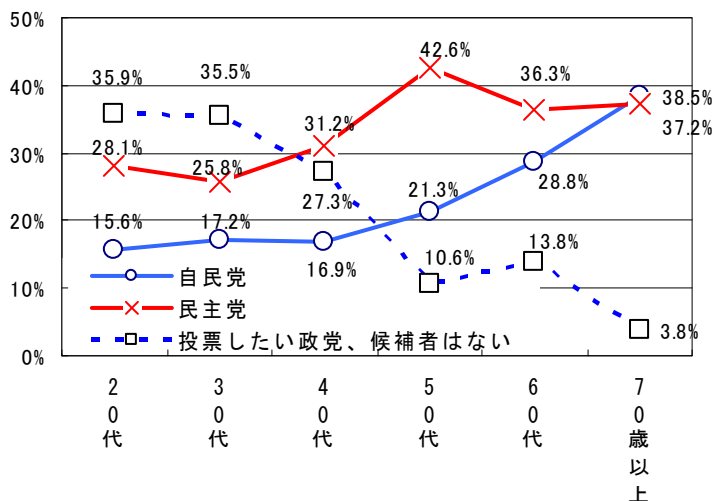
「民主党」は50代で43%と最も高く「自民党」を20ポイント余リード。両党ともに高い年代層で伸び、70



歳以上（以下「70代」と略記）では「自民党」が僅かながら上回る。「共産党」が40代で10%と最も高く「公明党」は40～50代でやや高めになっている。

その一方で「政党、候補はいない」が20～30代で30%台半ばに高まる。

◆年代別では

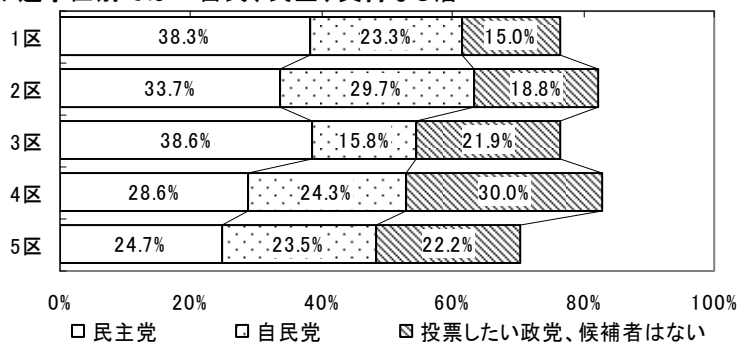


◆全選挙区で「民主」優位 無党派層は「民主」20%－「ない」60%

選挙区別では「民主党」が1区と3区で平均値を上回り「自民党」は2区で約30%と最も高いが、全選挙区で「民主党」にリードを許す。

自民党の支持層は自民党 84%－民主党 7%、民主党の支持層では民主党 95%と集中し、無党派層は民主党 20%－自民党 3%。その一方で「投票したい政党、候補者はいない」が60%に達する。

◆選挙区別では～自民、民主、支持なし層

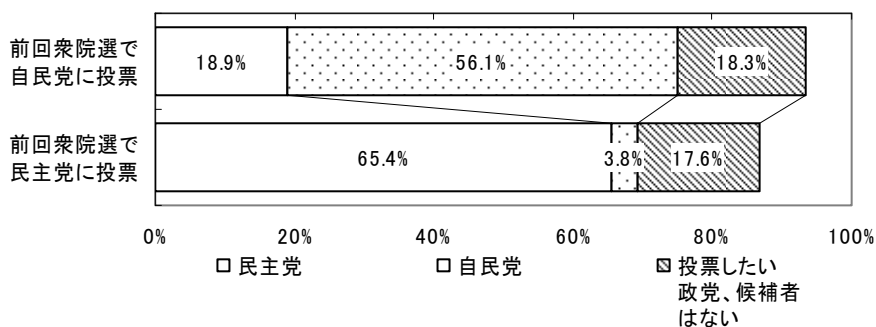


◆2年前の衆院選の自民投票層「自民」56%－「民主」19%

2年前の衆院選で投票したのは、全体で「民主党」と「自民党」が37%で並び、男性が「民主党」41%－自民党 35%だったのに対して、女性では「民主党」34%－「自民党」39%。

今回の比例代表の投票では、自民党に投票した層は「自民党」56%－「民主党」19%で、民主党に投票した層では「民主党」65%－「自民党」4%の色分けになる。

◆前回衆院選で投票した政党との比較では



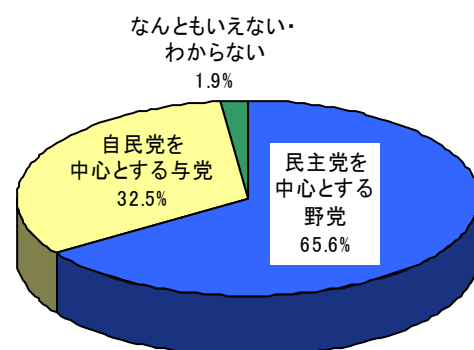
議席を伸ばしてほしいのは

◆「民主党を中心とする野党」66% 「与党」に2倍の差

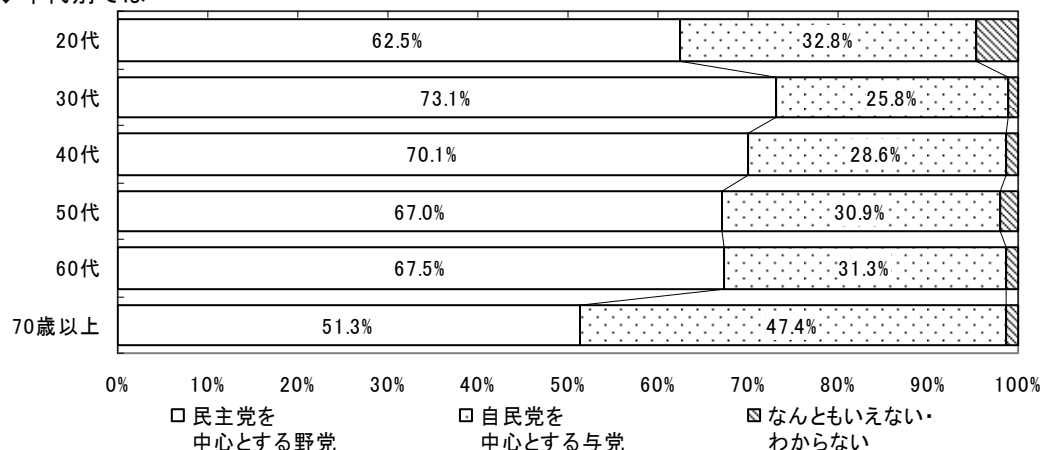
「民主党を中心とする野党」が66%の高率で「自民党を中心とする与党」の33%の2倍にのぼる。男女に差はなく、年代層では30～40代で「野党」が70%台に達する。70代では「与党」が47%に伸び「野党」に接近する。

選挙区別では「野党」が3区で70%に達して最も高く「与党」は2区で37%と最も高いが“与野党逆転”はみられない。

政党の支持層では、それぞれ属する与党、野党に集中する一方で、無党派層は「野党」81%―「与党」16%で平均値と大きく異なり、野党への追い風が強まる。



◆年代別では

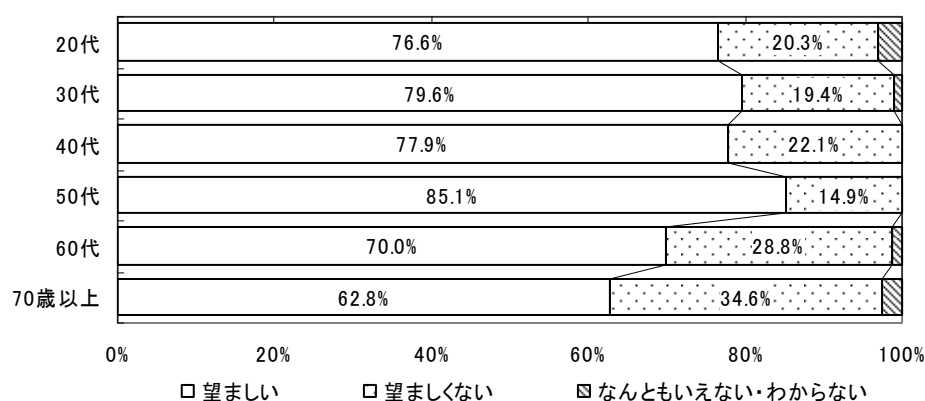


◆政権交代のある政治「望ましい」76%

政権交代のある政治が「望ましい」が4人に3人を数え男性で高め。年代層では50代で85%に達する一方で「望ましくない」が70代で35%と最も高くなっている。

民主党の支持層はほぼ全員が期待感を示すが、自民党の支持層では「望ましい」47%―「望ましくない」52%と伯仲する。

◆年代別では



安倍内閣の評価

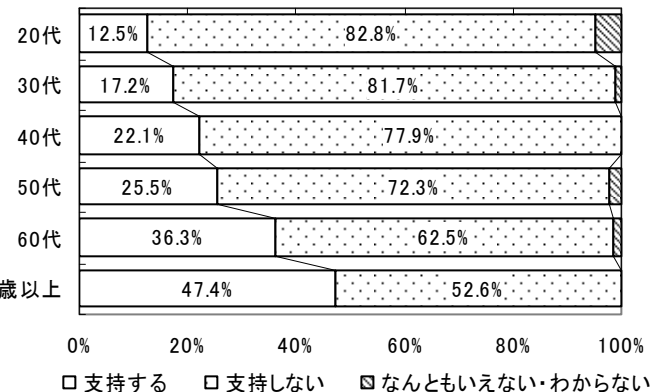
◆「支持する」減少続き 27.0% 不支持が 70%突破

「支持する」が減少を続け 27.0%、「支持しない」は 71.6%。今年 2 月の協会モニター調査時からの政局変動を映し出した。

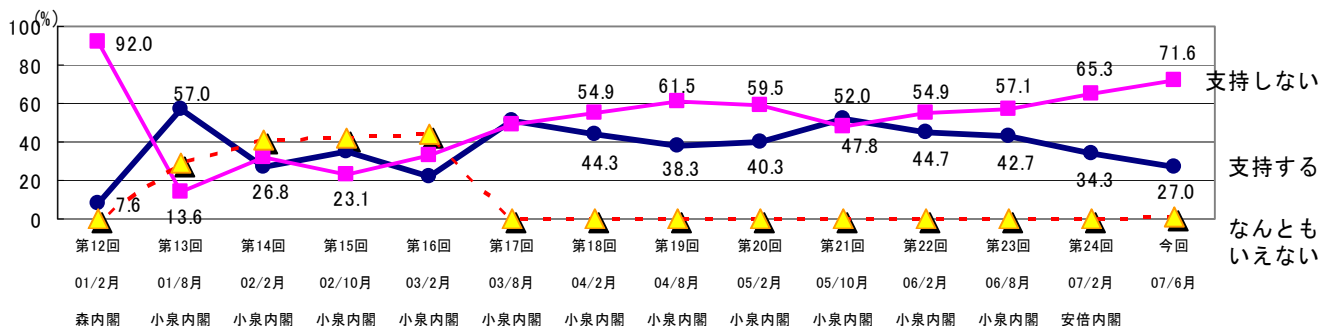
男女間にほとんど違いはみられないが、年代層が高まるほどに支持が増えて 70 代で 47.4%と最も高い。その半面、若い層では不支持が高まり、20～30 代では 80%台に乗る。

自民党の支持層で支持が 75.8%の一方で、不支持層はほぼ 4 人に 1 人。連立与党の公明党は支持 60.0%に低下する。民主党と無党派層では不支持が 90%台に達する。

◆年代別では



◆内閣支持率の推移

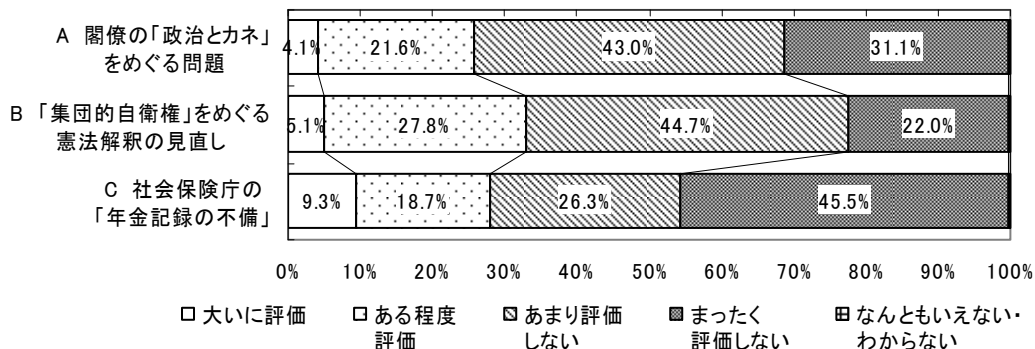


◆安倍首相の指導力の評価「年金」28% 「集団的自衛権」33%

国政の課題に対する安倍首相の指導力は「閣僚の政治とカネ」の問題で評価が 26%、「集団的自衛権の憲法解釈の見直し」には 33%、「年金記録の不備」は 28%と、いずれも厳しい受けとめがめだつ。

男女間で「政治とカネ」と「年金」の評価にあまり開きはみられないが「集団的自衛権」では男性で評価が 40%近くに高まり、女性とは 10ポイント余の差が生じている。総じて「評価しない」が大幅に上回る中で、高い年代層で評価が高まる流れがみられる。

自民党の支持層でも、否定的な受けとめが「年金」で半数に達し「政治とカネ」でも 46%を示した。



Ⅲ 調査票

読み上げない

問1 あなたは、政党の活動や選挙には、どの程度かかわりを持っていますか。

- ① 選挙で投票するだけ
- ② 自ら進んで活動や集会に参加し投票
- ③ 誘われれば活動や集会に参加し投票
- ④ その他 ()
- ⑤ ほとんどかかわりを持たない

☐

問2 あなたは、選挙の投票では、政党のマニフェスト（政権公約）や候補者の政策をどの程度重視しますか。

- ① 大いに重視する
- ② ある程度重視する
- ③ あまり重視しない
- ④ まったく重視しない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

☐

問3 あなたは、こんどの参院選で重視する争点は何ですか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 教育改革
- ② 税金・財政改革
- ③ 年金
- ④ 格差是正
- ⑤ 憲法見直し
- ⑥ 政治倫理
- ⑦ 外交・安全保障
- ⑧ 景気・雇用
- ⑨ 公共事業
- ⑩ その他 ()
- ⑪ 特になし
- ⑫ なんとも言えない・わからない

☐☐

問4 あなたは、参院選の投票では、政党の党首の能力や魅力をどの程度重視しますか。

- ① 大いに重視する
- ② ある程度重視する
- ③ あまり重視しない
- ④ まったく重視しない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

☐

問5 あなたは、論議をよんだ国政の問題について、安倍首相の取りくみや指導力をどう評価していますか。

A 閣僚の「政治とカネ」をめぐる問題

- ① 大いに評価する
- ② ある程度評価する
- ③ あまり評価しない
- ④ まったく評価しない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

☐

B 「集団的自衛権」をめぐる憲法解釈の見直し

- | | |
|------------|------------------|
| ① 大いに評価する | ④ まったく評価しない |
| ② ある程度評価する | ⑤ なんとも言えない・わからない |
| ③ あまり評価しない | |

☐

C 社会保険庁の「年金記録の不備」

- | | |
|------------|------------------|
| ① 大いに評価する | ④ まったく評価しない |
| ② ある程度評価する | ⑤ なんとも言えない・わからない |
| ③ あまり評価しない | |

☐

問6 あなたは、こんどの参院選の長野選挙区の投票では、なにを重視しますか。
2つ以内に絞ってお答えください。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① 候補の人柄・資質 | ⑤ 候補の政治姿勢 |
| ② 政党や後援会の依頼 | ⑥ 知人や家族の勧め |
| ③ 政党や候補の政策・公約 | ⑦ その他（ ） |
| ④ 候補の経験・実績 | ⑧ なんとも言えない・わからない |

☐
☐

問7 あなたは、こんどの参院選の比例代表選挙の投票では、どの政党または政党の候補者に投票しますか。

- | | |
|-------|-------------------|
| ① 自民党 | ⑥ 国民新党 |
| ② 民主党 | ⑦ 新党日本 |
| ③ 公明党 | ⑧ その他の政党・政治団体（ ） |
| ④ 共産党 | ⑨ 投票したい政党、候補者はない |
| ⑤ 社民党 | ⑩ まだ決めていない・言いたくない |

☐

問8 あなたは、2年前の前回の衆院選の比例代表選挙では、どの政党に投票しましたか。

- | | |
|-------|------------------|
| ① 自民党 | ⑥ 国民新党 |
| ② 民主党 | ⑦ 新党日本 |
| ③ 公明党 | ⑧ その他の政党・政治団体（ ） |
| ④ 共産党 | ⑨ 投票に行かなかった |
| ⑤ 社民党 | ⑩ 覚えていない・言いたくない |

☐

問9 あなたは、こんどの参院選で、議席を伸ばしてほしいのは、自民党を中心とする与党ですか、民主党を中心とする野党ですか。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① 自民党を中心とする与党 | ③ なんとも言えない・わからない |
| ② 民主党を中心とする野党 | |

☐

問10 あなたは「政権交代が行われる政治」についてどう思いますか。

- ① 望ましい ③ なんとも言えない・わからない
② 望ましくない

☐

問11 あなたは、こんごの日本の政治が変わってほしいと思いますか。

- ① 大いに変わってほしい ④ まったく変わってほしくない
② ある程度変わってほしい ⑤ なんとも言えない・わからない
③ あまり変わってほしくない

☐

問12 あなたは、どの政党を支持しますか。

- ① 自民党 ⑥ 国民新党
② 民主党 ⑦ 新党日本
③ 公明党 ⑧ その他の政党 ()
④ 共産党 ⑨ 支持する政党はない
⑤ 社民党 ⑩ 言いたくない

☐

問13 あなたは、安倍内閣を支持しますか。

- ① 支持する ③ なんとも言えない・わからない
② 支持しない

☐

＜性 別＞ ① 男性 ② 女性

☐

＜年 代＞ ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70歳以上
(※年代と合わせて、選択肢番号を付けております)

☐

＜職 業＞ ① 農・林・漁業 ⑥ 商工・自営業
② 事務・技術系の勤め ⑦ 主婦
③ 現業系の勤め ⑧ 無職
④ サービス系の勤め ⑨ その他(具体的に)
⑤ 役員・管理職・自由業

☐

＜地 域＞ ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信

☐

＜選挙区＞ ① 1区 ② 2区 ③ 3区 ④ 4区 ⑤ 5区

☐

＜結 婚＞ ① 既婚 ② 未婚

☐

＜暮らしぶり＞ ① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下

☐